

令和7年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立総合研究機構 農業研究本部
畜産試験場

I 気 象 概 況

9月下旬：平均気温は16.1℃（平年差+1.8℃）で平年よりやや高かった。降水量は59.5mm（平年比144%）で平年よりやや多かった。日照時間は70.9時間（平年比140%）で平年よりかなり多かった。

10月上旬：平均気温は13.8℃（平年差+1.4℃）で平年よりやや高かった。降水量は16.0mm（平年比29%）で平年よりかなり少なかった。日照時間は55.4時間（平年比116%）で平年並であった。

10月中旬：平均気温は9.0℃（平年差－0.5℃）で平年並であった。降水量は8.0mm（平年比28%）で平年よりかなり少なかった。日照時間は43.5時間（平年比78%）で平年よりやや少なかった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温はやや高く、降水量はやや少なく、日照時間はやや多かった。

	9月下旬			10月上旬			10月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (℃)	16.1	14.3	1.8	13.8	12.4	1.4	9.0	9.5	△0.5
最高気温 (℃)	21.8	19.8	2.0	19.1	17.6	1.5	13.3	14.8	△1.5
最低気温 (℃)	10.7	9.2	1.5	8.0	7.4	0.6	4.6	3.9	0.7
降 水 量 (mm)	59.5	41.4	18.1	16.1	55.2	△39.2	8.0	28.9	△20.9
降水日数 (日)	3.0	3.5	△0.5	2.0	5.5	△3.5	6.0	3.5	2.5
日照時間(時間)	70.9	50.8	20.1	55.4	47.6	7.8	43.5	55.6	△12.1

注1) 各数値は旬の平均または合計。△は減を示す。

注2) 平年値は前10か年の平均値。

Ⅱ 作 況

1. 牧草 採草型チモシー

3 番草作況 : 不良
1～3 番草通算作況 : 平年並

事 由 :

<3 番草>

3 番草の刈取りは平年と同日の 10 月 10 日に行った。草丈は 3 年目草地で平年よりやや低かったが、2、3 年目草地の平均では平年並であった。乾物収量の平年比は 2 年目草地で 102%、3 年目草地で 73%、両草地の平均では 88%であった。

以上のことから、3 番草の作況は「不良」である。

<1～3 番草合計>

1～3 番草合計の乾物収量は、2 年目草地で 1,025.6kg/10a（平年比 94%）、3 年目草地で 1,007.2kg/10a（平年比 103%）、両草地の平均では 1,016.4kg/10a（平年比 98%）であった。

以上のことから、1～3 番草合計の作況は「平年並」である。

調査項目	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
3番草収穫日(月. 日)	10.10	10.10	0	10.10	10.10	0
生育日数 (日)	65	68	△ 3	65	68	△ 3
収穫時草丈 (cm)	56	52	4	39	47	△ 8
生草収量 (kg/10a)	937	873	64	585	715	△ 130
乾物率 (%)	20.9	21.8	△ 0.9	21.1	24.1	△ 3.0
乾物収量 (kg/10a)	195.2	191.9	3.3	123.4	168.9	△ 45.5
同上平年比 (%)	102	100	2	73	100	△ 27
1～3番草合計						
乾物収量 (kg/10a)	1,025.6	1,094.0	△ 68.4	1,007.2	980.0	27.2
同上平年比 (%)	94	100	△ 6	103	100	3

注 1) 平年値は2年目草地が前7カ年のうち最豊年(令和2年)及び最凶年(令和1年)を除く5カ年の平均値、
3年目草地は前7カ年のうち最豊年(令和2年)及び最凶年(令和1年)を除く5カ年の平均値。

2) △は減または早を示す。

2. サイレージ用とうもろこし

作 況：平年並

事 由：

播種期は平年より8日早い5月9日、発芽期は平年より10日早い5月18日であった。初期生育は良好で、7月の草丈は291cmで平年より105cm高く、順調な生育が認められた。絹糸抽出期は7月17日で平年より11日、雄穂開花期は7月17日で平年より13日早かった。8月の稈長は259cmで、平年より23cm高かった。収穫期は平年より20日早い8月28日、収穫時の熟度は平年並の黄熟中期であった。生草収量は茎葉、総体は平年値を上回ったが、雌穂ではやや下回った。総体乾物率は平年より3.3ポイント低く、最終的に、雌穂および総体の乾物収量、並びに推定TDN収量は、それぞれ平年比で97、105および103%であった。

以上のことから、本年の作況は「平年並」である。

調査項目	本年	平年	比較	平年比(%)
播種期(月.日)	5.9	5.17	△8	—
発芽期(月.日)	5.18	5.28	△10	—
草丈(cm)	6月20日	63	34	29
	7月20日	291	186	105
稈長(cm)	8月20日	259	236	23
葉数(枚)	6月20日	7.7	6.5	1.2
	7月20日	16.2	14.2	2.0
	8月20日	16.3	16.6	△0.3
雄穂開花期(月.日)	7.17	7.30	△13	—
絹糸抽出期(月.日)	7.17	7.28	△11	—
収穫期(月.日)	8.28	9.17	△20	—
収穫時熟度	黄中	黄初-黄中	—	—
総体生草収量(kg/10a)	6,322	5,411	911	117
総体乾物収量(kg/10a)	1,687	1,612	75	105
雌穂乾物収量(kg/10a)	865	896	△31	97
乾雌穂重割合(%)	51.3	55.5	△4.2	—
総体乾物率(%)	26.7	30.0	△3.3	—
推定TDN収量(kg/10a)	1,213	1,178	35	103

注 1) 平年値は前7カ年のうち最豊年(令和2年)と最凶年(令和1年)を除く5カ年の平均値。

2) △は早または減を示す。

3) 供試品種は「KD320」。